

垂井町第6次総合計画（素案） 修正箇所

ページ	新（第3回）	旧（第2回）
6	6 ふるさとへの誇りと愛着をもった人財を育てるまち <u>児童生徒が生命や人権を尊重しながら、確かな学力を身につけ、互いを理解し、健康づくりに取り組む</u> 教育を、家庭や地域、学校が連携を図りながら進めます。	6 ふるさとへの誇りと愛着をもった人財を育てるまち 児童生徒が「生きる力」を育み、豊かで健やかな心体の育成を図り、確かな学力の向上を図る教育を、家庭や地域、学校が連携を図りながら進めます。
8～11	第4章 将来の都市構造 <u>新規記載</u>	第4章 将来の都市構造 空白
20	【出生数増加への戦略】 <u>削除</u>	【出生数増加への戦略】 5-4 生涯にわたり健康である健康寿命の延伸促進
21	【転出抑制・転入促進への戦略】 6-1 <u>知徳体の調和を大切にした園・学校づくり</u>	【転出抑制・転入促進への戦略】 6-1 「生きる力」を育てる多様な教育の推進
22	第4節 目標指標 <u>新規記載</u>	第4節 目標指標 空白
26～61	4 目標指標 <u>新規記載</u>	4 目標指標 空白
33	1 主要課題 また、国道21号の拡幅や <u>県道の整備促進</u> は、本町における大きな課題の1つです。	1 主要課題 また、国道21号の拡幅は、本町における大きな課題の1つです。
33	2 戦略のねらい <u>都市計画道路の見直しを行うとともに</u> 、地域生活に欠かせないインフラである道路を計画的に整備や維持管理を行い、地域住民や来町者が快適に移動・行動できる基盤づくりを進めます。	2 戦略のねらい 地域生活に欠かせないインフラである道路を計画的に整備や維持管理を行い、地域住民や来町者が快適に移動・行動できる基盤づくりを進めます。
39	2 戦略のねらい 地球温暖化や <u>外来種の侵入</u> などの環境問題に対応し、本町の豊かな自然環境を永続的に保全するとともに、ごみの減量化や新たな処理施設の検討など、環境保全を促進する取組の充実を図ります。	2 戦略のねらい 地球温暖化などの環境問題に対応し、本町の豊かな自然環境を永続的に保全を図るとともに、ごみの減量化や新たな処理施設の検討など、環境保全を促進する取組の充実を図ります。
53	1 主要課題 さらに、 <u>本町の将来的な発展に寄与する人材を育てられるよう</u> 、学校教育の中で郷土愛を育むことを実施し、汎用的能力と地域貢献力のある人材を <u>育</u>	1 主要課題 さらに、学校教育の中で郷土愛を育むことを実施し、汎用的能力と地域貢献力のある人材育成を進めることが、 <u>本町の将来的な発展に寄与すると考え</u>

ページ	新（第3回）	旧（第2回）
	<u>成することが求められています。</u>	られます。
53	2 戦略のねらい <u>個の特性を正しくとらえたうえで、確かな学力を身に付け、自らが課題解決できる資質や能力を備えるとともに、広い視野をもって互いを理解し、体力の向上や健康づくりに取り組むなど、知徳体の調和のとれた教育活動を、家庭や地域、学校が一体（コミュニティスクール）となって推進していきます。</u> <u>また、これらを行うすべての教育施設において、安全性を確保するとともに、心身の成長過程に必要な教育環境を整備します。</u>	2 戦略のねらい 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む取組は、本町の将来にとっても欠かせない視点であるため、豊かな人間性と社会性や集団性を育む学校教育や心の教育、いじめ対策などを充実させた教育環境の整備を進めていきます。 また、 <u>基礎的・基本的な知識や技能の確実な定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めます。</u>
53	3 戦略 <u>生きる力を育むよう、知徳体の調和を大切にした園・学校づくりを行います</u>	3 戦略 「生きる力」を育てよう、児童生徒一人ひとりが確かな学力を身に付け、 <u>健やかな心体と他者を愛する心を育む、多様な教育を進めます</u>
60	2 戦略のねらい 持続可能な財政運営を維持していくためには、 <u>経常的経費の抑制など自治体の内部努力に加えて、一層の事務事業や住民サービスの見直し・選択なども求められます。</u> そのため、10年後の未来に向けて、「垂井町公共施設等総合管理計画」等に <u>基づき施設の検証・見直しを進めるとともに、「より多くの事務事業の実施」から「優先度を考慮した事務事業の選択」への転換に取り組めます。</u> また、自主・自律したまちづくりを支える財政基盤を健全かつ強固にするため、行財政改革を前提として、 <u>様々な手段を検討して自主財源や特定財源の確保を図ります。</u>	2 戦略のねらい 持続可能な財政運営を維持していくには、「自治体の内部努力（経常的経費の抑制等）」に加えて、一層の「住民サービスの見直し（事務事業の選択等）」も求められます。 そのため、10年後の未来に向けて、「垂井町公共施設等総合管理計画」等による <u>施設の見直しをはじめ、「より多くの住民サービスへの対応」から「住民サービスを見直し・選択」への転換に取り組む、また、自主・自立したまちづくりを支える財政基盤を健全かつ強固にするため、行財政改革を前提として、あらゆる手段を検討して自主財源・特定財源の確保に努めます。</u>
60	3 戦略 持続可能な健全財政を維持できるよう、 <u>事務事業の見直しや選択に向けた取組を進めるとともに、行財政改革の視点に立った自主財源と特定財源の確保を図ります</u>	3 戦略 持続可能な健全財政を維持できるよう、行財政改革の視点に立った自主財源と特定財源の確保を図ります